

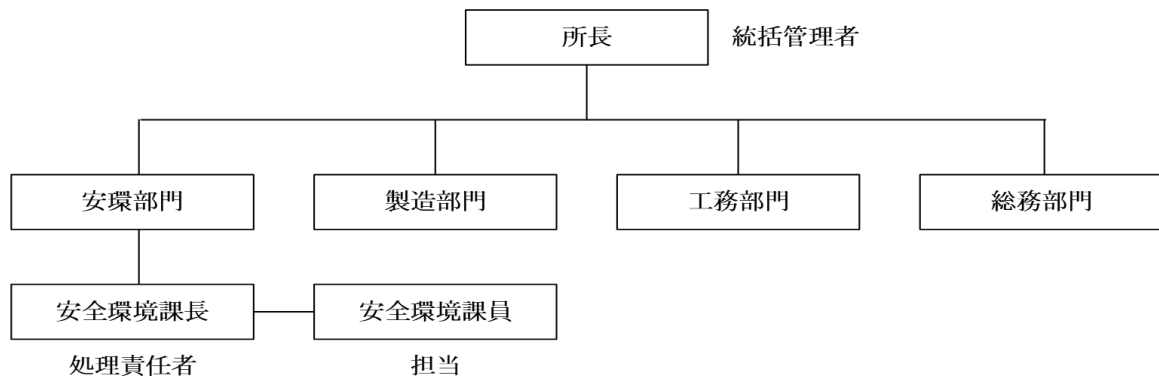
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月28日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒290-8558	
住 所 千葉県市原市五井海岸2番地	
氏 名 コスモ石油株式会社	
取締役執行役員千葉製油所長 禰津 知徳	
電話番号 0436-23-4116	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
事業場の所在地	千葉県市原市五井海岸2番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E17-石油製品・石炭製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 8,655 億円（令和5年実績）
③ 従業員数	702人（従業員542人、関連会社員160人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	排出量	116.4 t	10848.5 t
	(これまでに実施した取組) タンク開放検査工事にて発生する廃棄物（スラッジ）を削減するため、気中洗浄を導入している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	排出量	150.0 t	12000.0 t
	(今後実施する予定の取組) 従業員（関連会社員含む）に廃棄物関連の教育を行い、廃棄物に対する意識向上により廃棄物発生の抑制に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物全般：発生する廃棄物について、種類毎に分別してドラム缶に回収している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物全般：従業員（関連会社や協力会社含む）に分別回収の教育を徹底し、再資源化の更なる向上に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社にて再生利用の実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も再生利用の予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	7193.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	7444.5 t
	(今後実施する予定の取組)		
	現在の取り組みを継続する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社にて埋立処分や海洋投入処分を行った実績はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も埋立処分や海洋投入処分の予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	全処理委託量	116.4 t	3655.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	2724.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	178.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定処理業者や再生利用業者への委託処理を優先とし、最終処分率の更なる削減に取り組んでいる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	全処理委託量	150.0 t	4555.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t	3389.3 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	218.7 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	現在の取り組みを継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
		排 出 量	395.9 t	139.8 t	47.9 t	4.8 t	107.6 t	92.9 t	162.4 t	1.2 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
排 出 量		500.0 t	100.0 t	5.0 t	5.0 t	30.0 t	500.0 t	30.0 t	2.0 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	¥ t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃アルカリ	がれき類	水銀使用製品
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	

[illegible]

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

